



# 校長室だより

12月号

学校教育目標「すべての子どもに生きる喜びと明日をつくる力を」  
東大阪市立長瀬西小学校 松田至弘

## ★ 今年の漢字は「災」

毎年日本漢検協会がその年の世相を表す漢字一字を発表していますが、今年は「災」となったようです。大阪北部地震、災害級の酷暑、西日本豪雨、大型台風の襲来と自然災害が強く印象に残る一年だったといえます。「災」は平成16年に続いて2回目の登場だそうです。



長瀬西小学校の今年の漢字は「挑」ではないでしょうか。新学習指導要領への対応、小中一貫教育施策の準備と実施、その他長西小初めての試みもいくつもありました。社会全体が新局面を迎えることが多く、これから生きていく子どもたちは常に「挑」まなければならないと言えます。私たち大人も、子どもたちのモデルとなれるように、挑戦する姿勢、新しい物事を学ぶ姿勢を持ち続けたいものです。



## ★ 6年生中学校登校6回目

12月4日(火)、今年6回目の中学校登校を行いました。弁当持参の全日登校は2回目です。今回はバラエティに富んだものでした。合同クラスでの中学校の先生による授業、小・中の先生のティームティーチングによる授業、他にも柏田中学校生徒会作成によるクラブ紹介映像の上映などがありました。どの場面でも中学校に慣れてリラックスした様子でした。特にクラブ紹介映像ではそれぞれのクラブが楽しませようとする工夫に思わず笑いが起こっていました。次回、実際のクラブ体験が待ち遠しくなったのではないのでしょうか。



## ★ エリア研究交流会発表

今年度で最後となる東大阪市人権教育研究集会(エリア研)で柏田中学校区4校園が研究発表を行いました。

長瀬西小学校からは加藤先生(2年2組)が「自分アルバムをつくろう」という授業テーマのもと、支えられて育った自分を知り、自分も友達も本当に大切な存在であ



ると気づくことを目標に取り組んだ授業を公開しました。また、芳山先生(1年1組)は長瀬西幼稚園と合同で「つくってあそぼう・おみせやさんごっこ～伝えあい、考えあい、決まりを守ろう」のテーマのもと、社会にはルールがあり、ルールが生活を過ごしやすくしたり楽しくしたりすることを感じるという目標を立て取り組んだ授業を公開しました。どちらの授業もたくさんの他校の先生が見学されていましたが、子どもたちは物怖じすることなく普段通り元気よく活発に活動できていました。



### ★ 4年生社会見学「大和川」

11月22日(木)寒さ厳しい中、柏原市にある歴史資料館へ社会見学に行きました。

今までゲストティーチャーにも来ていただき、社会科で大和川の付け替え工事について学習してきました。昔、大洪水があり人々が苦しんできたことやそれを解決するために中甚兵衛なかじんべえが取り組んできたことなどを教えていただきました。

実際に、資料館を訪れ実物や資料を見学したり、大和川の河川敷を歩いたり、自分の歩数で川幅を測ったりすることで、大和川の大きさや当時の人たちの苦労や思いを知ることができたと思います。



### ★ 5年生社会見学「コリアタウン」

12月7日(金)長瀬西小学校では初めての取り組み、コリアタウンへフィールドワークに行きました。

御幸森神社で宋伸貴ソンセンニムのお話を聞き、スタートしました。朝鮮からの渡来人が大陸のたくさんの文化を伝え村をつくった場所に仁徳天皇が何度も訪れたので御幸森と名付けられたという古代の歴史から、1993年日本で生きていく共生社会の未来を展望して「コリアタウン」と呼ぶようになったというお話を現地で伺うことができました。

また各ポイントでもそれぞれのお店の方から貴重なお話を聞くことができました。質問も活発で聞く姿勢もとてもよかったです。

お昼は食文化を実際に味わうこともできました。味だけでなく、お店の人とのやり取りを楽しみ、人柄を感じることができた人が多かったようです。本当に貴重な体験となりました。

